

公益社団法人愛知県医師会 第30回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年1月9日(木) 午後2時30分～午後4時35分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 櫻尾 富二

松尾 清一 樋口 俊寛 伊藤富士子 瀬瀬 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 翼 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治

議事録作成者 横地 宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、逝去された大野副議長へ黙祷を捧げ、引き続き柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①NPO法人日本救急蘇生普及協会(会長 野口 宏)主催の平成26年度事業の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(2) 女性と子どものライフケア(会長 長江美代子)主催の講演会〔3/2(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 第170回(臨時)代議員会〔3/15(土)〕の次第について

市川理事より説明があり、承認された。

柵木会長より、顧問に関する議題について質問され、市川理事より6月の代議員会で議案としてあげる予定であると回答された。

2. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔2/3(月)〕開催について  
(愛知県医師会主催：一宮市医師会)

稲坂理事より説明があり、標記訓練の開催が承認された。

3. 愛知県医師会無線システムの更新について

稲坂理事より、現行の無線システムであるアナログ回線が、平成26年3月末で使用できなくなるため、代替のデジタル無線網を整備・導入する必要がある旨説明され、県下全域で通信可能である無線機(IP無線機)を奥田電機工業株式会社で導入することが承認された。

4. 東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状に係る推薦について

稲坂理事より説明があり、本会(団体)と野村直孝先生(個人)を推薦することが承認された。

5. 子供の健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)における疾患情報登録調査の実施に関する調査協力について

城理事より説明があり、1月16日(木)の県下医師会長等協議会の議題とすることが承認された。

6. 平成25年度難病講演会〔3/4(火)〕開催について  
(愛知県医師会主催：9階大講堂)

大輪理事より説明があり、標記講演会の開催が承認された。

7. 平成25年度県下医師会介護保険・障害者総合支援担当理事連絡協議会〔2/17(月)〕開催について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

樋口理事より説明があり、標記協議会の開催が承認された。

8. 母体保護法指定医師の指定について

伊藤(富)理事より説明があり、新規1名の指定が承認された。

9. 各種委員会・部会について

A) 難治性疾患委員会〔2/17(月)〕開催について

(803・804会議室)

大輪理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

—協議事項—

10. 平成 25 年度「日本医師会総合政策研究機構・日本学術会議共催シンポジウム」  
参加者派遣について  
柵木会長より、出席希望の役員は事務局まで申し出て頂くよう依頼された。
  
11. 1月の県下医師会長等協議会への地区医師会からの質問事項について  
市川理事より、安城市医師会から提出された「准看護師養成、看護師養成に対する県医師会の考え」について説明され、1月16日（木）の県下医師会長等協議会の質問事項として提出し、市川理事が対応することが承認された。  
城理事より、稲沢准看護学校の運営状況について、樋口理事より、准看護学校の管理者について、加藤監事より看護学校の教員について発言があった。
  
12. 日本医師会—AMDAのフィリピン台風被害救援活動への支援について  
柵木会長より、県医師会からはスマトラ島沖地震の支援金と同額の20万円を支払い、また、1月16日（木）の県下医師会長等協議会にて、地区医師会に協力依頼をすることが承認された。  
山本副会長より、地区医師会の支援金額との兼ね合いがあるので、県医師会からの支援金額の増額について発言され、柵木会長より、前例に従って支払いをすると回答された。
  
13. 平成 25 年度医療事務員資格認定試験〔12/10(火)〕の結果について  
樫尾理事より説明があり、全員の合格が承認された。
  
14. その他

—報告事項—

1. 地域医療連携のための有識者会議〔12/27(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

柵木会長より、地域医療再生計画の見直しについて、愛知県の平成 21、22 年度の未執行事業については継続することが了承され、県医師会としては地域医療再生調査研究事業、地域医療再生研修事業が該当していると報告された。

伊藤(健)理事より、女性医師就労環境改善緊急対策事業について質問され、柵木会長より、継続事業であると回答された。

2. マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2014 第 2 回医療部会〔12/25(水)〕について

(マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会主催・中日新聞社)

稲坂理事より、愛知医科大学の中川先生からシカゴマラソンの視察報告が行われた。続いて、マラソンフェスティバル 2014 医療体制(案)が事務局より提示された。今回は、医療スタッフが活動中に受傷した場合等に備えて加入する保険、苦情対応窓口を実行委員会とする旨等が周知された。最後に、今後のスケジュール確認が行われたと報告された。

細川理事より、視察報告では、テロに対する救護体制の整備、また、シカゴマラソンと本マラソンでは規模等が違っていると報告された。

3. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第 8 回運営委員会〔12/11(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務室)

城理事より、平成 26 年 4 月より消費税が 8%となるが、特定健診・特定保健指導の手数料を据置きとすることとした。名古屋市北区と一宮市で行われているエコチル調査のなかで、調査に登録されている患者が地区外で受診した時の情報提供を県医師会を通じて、県下の会員に依頼することになった。また、特定健診で使うコード表の見直しを行うこと、インフルエンザワクチン接種補助事業について報告された。

柵木会長より、インフルエンザワクチン接種補助事業の補助券数の前年度比について質問され、城理事より、前年度と同等か若干多いと回答された。

4. 第 20 回(2013 年度第 3 回)名古屋記念病院地域医療支援病院運営協議会〔12/20(金)〕について

(名古屋記念病院主催：名古屋記念病院)

大輪理事より、平成 25 年度の平均紹介率(62.2%)、逆紹介率(59.0%)は、新基準を満たしていないので、努力をしていく。医科歯科連携について、レベルⅠ・Ⅱ研修会を実施しレベルアップを図り、来年 3 月にはレベルⅢ研修会を行う予定。病院薬剤師と保険薬局薬剤師との間での密接な情報共有を図っていくと報告され

た。

## 5. 治験審査会〔12/20(金)〕について

(愛知県医師会主催：804 会議室)

大輪理事より、初回審査 1 件(大うつ病)、継続審査 13 件(統合失調症 7 件(小児 2 件含む)、認知症 2 件、双極 I 型障害・大うつ病・潰瘍性大腸炎・1 型糖尿病 各 1 件)については、すべて承認されたと報告された。

## 6. 愛知県肝臓手帳(仮称)作成委員会〔12/27(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

額額理事より、平成 26 年 4 月より市町村保健所から、肝臓手帳が各地区肝疾患専門医療機関一覧表と一緒に交付されることになり、スケジュール、手帳の内容について検討され、また、手帳は 1,000 部作成し、新規患者へ配付されると報告された。

柵木会長より、対象者について質問され、額額理事より、新たに検診で陽性になった方へ配付すると回答された。

柵木会長より、新規患者の把握をどう行っているのか確認し、次回報告するよう額額理事に依頼された。

## 7. 各種委員会・部会について

### A) 医療安全対策委員会〔12/17(火)〕について

(803・804 会議室)

細川理事より、平成 25 年 12 月分委員会提出案件 21 件(新規 13 件、解決 8 件)について検討し、医療安全に関する講演会、死因究明システム推進事業講演会について報告をしたと報告された。

### B) 第 8 回 愛医総研委員会〔12/20(金)〕について

(愛知県医師会主催：5 階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、地域医療再生調査研究事業の進捗報告としてイエローカードシステム試行の経過状況と今後の計画、追跡調査の分析手法および結果に関する説明があった。また、継続協議事項である「愛知県医療計画に係る組織見直し」では、医療審議会に係る組織体制の改編図案をもとに各会議の位置付けや関連性、設置根拠などを中心に議論を行ったと報告された。

柵木会長より、愛知県医療計画に係る組織見直しについては医療提供を中心に議論を進めたが、8 月の医療審議会レベルで愛知県の医療提供に関わる委員会の整備について提案をする予定であり、それぞれの委員会がどの位置にあるか示す予定であると発言された。

### C) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔12/24(火)〕について

(愛知県医師会主催：801・802 会議室)

大輪理事より、平成 25 年 11 月分の事例報告・検討を行い新規事例 95 事例(眼鏡の処方、継続患者のみの診療、出産育児一時金、医師の発言、後遺障害診断書に関する事例)について報告。人工透析、解剖結果、前立腺がん、労災の請求書、診療報酬明細書に関する事例等について協議を行ったと報告された。

## 8. その他

### ・ 医師臨床研修制度の見直しについて

松尾理事より、医師臨床研修制度について、新しい計算方式での愛知県の募集定員の上限及び各臨床研修病院の募集定員について県の調整による加算があり、有識者会議にて振り分けが行われると説明された。

### ・ 包括算定の小児科外来診療料について

山本副会長より、診療報酬改定の際は、小児科外来診療料を始めとした包括算定の医学管理料についても考慮して欲しいと発言され、柵木会長より、今回の改定は消費税の加算が含まれているので、包括の医学管理料にも反映されるであろうと回答された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年1月9日